

1 計画の目的

五所川原市では、人口減少・少子高齢化に対応した持続可能な地域公共交通の維持確保や、制度変更などを踏まえた更なる利便増進に向けた取組を推進する新たなマスタープランとして、「五所川原市地域公共交通計画」を令和5年6月に策定しました。

この計画では、「五所川原市地域公共交通計画」に基づき、市内の公共交通モード全体を見直し、持続可能な移動手段の確保と、利便性向上による利用促進を図るための具体的な事業を定めるものです。

2 計画の位置づけ

本計画は、市の最上位計画である五所川原市総合計画に示される将来像の実現に向け、五所川原市の総合的な交通計画である「五所川原市地域公共交通計画」において、令和10年度までに実施する事業を具体化した計画として位置づけます。

3 計画の区域

本計画の対象区域は五所川原市全域とします。

4 計画の期間

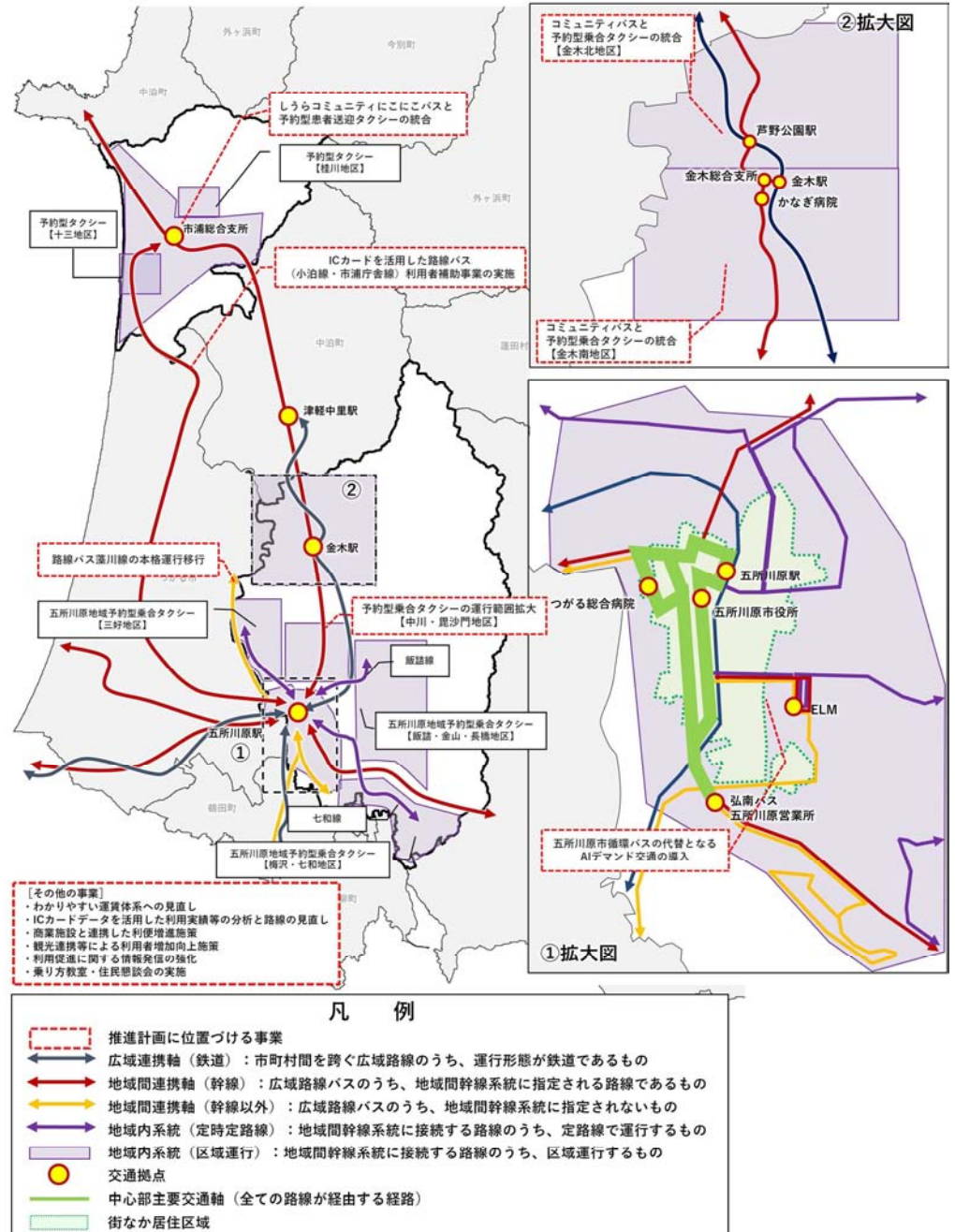
本計画の期間は、令和6年度（2024年度）から令和10年度（2028年度）までの5年間とします。

5 推進計画で位置付ける事業の全体像

市では交通空白エリアの解消を念頭に、路線等の効率化により公共交通網の維持・確保を図ります。

地域内交通におけるバス路線や予約型乗合タクシーの運行区域では、日数や曜日、便数等が適切であるか検証のうえ、再編等を検討します。

6 公共交通ネットワークのイメージ図



7 地域公共交通計画の施策内容と推進計画で位置づける事業の関係

五所川原市地域公共交通計画において設定している施策と推進計画に位置づける具体施策の事業名を記載のうえ、それぞれの関連を示します。

地域公共交通計画で設定した施策			推進計画に位置づける事業				
目標 1：まちづくりと連携した最適で利便性の高い市内路線の整備			目標 1：まちづくりと連携した最適で利便性の高い市内路線の整備				
事項	施策番号	施策内容	施策番号	対象地域・路線	事業名	実施年度	詳細
市内移動に関する事項	1-1-1	利用の少ない市内路線バス・コミュニティバス等の再編	1-1-1	市浦地域	しうらコミュニティバスと予約型患者送迎タクシーの統合	R9～	P9
	1-1-2	中心部を運行する路線に接続する郊外部からの路線バス等の運行	1-1-2	飯詰線・藻川線・七和線	分かりやすい運賃体系への見直し	R7～	P13
	1-1-3	予約型乗合タクシー等のデマンド型交通の運行範囲の見直し	1-1-3	毘沙門地区 金木地域	予約型乗合タクシーの運行範囲拡大 川倉の湯っこバスと予約型乗合タクシーの統合	R6～ R9～	P14 P17
	1-1-4	大規模商業施設や医療機関を経由する路線の見直し	1-1-4	本庁地区、栄地区、 松島地区の一部	五所川原市街地循環バスの代替交通となる AI デマンド交通の導入	R7～	P21
路線の接続・乗継等に関する事項	1-2-1	幹線系統と市内路線の接続拠点の見直し					
目標 2：本市と市外を結ぶ広域路線の利便増進			目標 2：本市と市外を結ぶ広域路線の利便増進				
事項	施策番号	施策内容	施策番号	対象地域・路線	事業名	実施年度	詳細
市域間の移動に関する事項	2-1-1	市域間の移動に必要な広域路線（市内南北軸）の利便増進	2-1-1	小泊線・市浦庁舎線	IC カードを活用した路線バス（小泊線・市浦庁舎線） 利用者補助事業の実施	R6～	P25
市外への移動に関する事項	2-2-1	市外へ外出するための広域路線の利便増進	2-2-1	青五線・弘五線	商業施設と連携した利便増進施策	随時	P26
目標 3：公共交通サービスを安定的に提供できる体制の構築			目標 3：公共交通サービスを安定的に提供できる体制の構築				
事項	施策番号	施策内容	施策番号	対象地域・路線	事業名	実施年度	詳細
運行効率化に関する事項	3-1-1	スクールバスと公共交通の統合による公共交通の効率化	3-1-1	藻川線	路線バス藻川線の本格運行移行	R7～	P27
サービスの提供体制に関する事項	3-2-1	地域と連携して公共交通を支えていく体制の構築	3-2-1	本庁地区、栄地区、 松島地区の一部	五所川原市街地循環バスの代替交通となる AI デマンド交通の導入（再掲）	R7～	P31
	3-2-2	運転手の高齢化や運転手不足に対する交通事業者への支援	3-2-2	全バス路線	IC カードデータを活用した利用実績等の分析と見直し	随時	P31
	3-2-3	IC カードデータを活用した利用実績等の分析と路線の見直し	3-2-3				
目標 4：公共交通の利用環境整備と利用促進			目標 4：公共交通の利用環境整備と利用促進				
事項	施策番号	施策内容	施策番号	対象地域・路線	事業名	実施年度	詳細
利用環境の整備・向上に関する事項	4-1-1	乗降・待合場所等のバリアフリー機能の強化	4-2-1	小泊線・市浦庁舎線	IC カードを活用した路線バス（小泊線・市浦庁舎線） 利用者補助事業の実施（再掲）	R6～	P32
	4-1-2	ユニバーサルデザイン等の利用しやすい車両の導入					
利用促進等に関する事項	4-2-1	高齢者、自動車運転免許返納者の公共交通利用に対する支援	4-2-3	五所川原市全域	利用促進に関する情報発信等の強化	随時	P32
	4-2-2	観光など他分野との連携強化による利用者数の向上	4-2-4	五所川原市全域	乗り方教室・住民懇談会の実施	随時	P32
	4-2-3	利用促進に関する情報発信等の強化					
	4-2-4	モビリティ・マネジメント（MM）の実施					

8 推進計画に位置づける事業の概要

目標1：まちづくりと連携した最適で利便性の高い市内路線の整備		
事業名	しうらコミュニティにこここバスと予約型患者送迎タクシーの統合	<p>しうらコミュニティにこここバスと予約型患者送迎タクシーの統合</p> <p>市浦総合支所</p> <p>地域間連携軸(幹線)</p> <p>対象運行区域</p>
対象地域・路線 (実施年度)	・市浦地域（令和9年度～）	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・交通モードの統合により公共交通の効率化を図ります。 ・交通拠点に接続することで、市内外の公共交通網の維持・構築を図ります。 ・受益者負担による持続可能な公共交通網の構築を図ります。 	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「予約型患者送迎タクシー」と「しうらコミュニティにこここバス」を統合します。 ・週1日の運行から週3日の運行とし、予約があった時のみ運行します。 ・事業者に対して4条許可（乗合）の取得を働きかけるほか、実現しない場合を想定して自家用有償運送の活用も検討します。 	
数値目標	(総事業費) 現況値 6,856千円 目標値 5,819千円	
事業名	分かりやすい、持続可能な運賃体系への見直し	<p>五所川原駅</p> <p>地域間連携軸(幹線)</p> <p>対象系統</p>
対象地域・路線 (実施年度)	・飯詰線・藻川線・七和線（令和7年度～）	
目的	・分かりやすい運賃形態とすることで、乗車率の向上を図ります。	
事業概要	・利用者の増加による収支改善を図り、路線の維持に努めます。	
数値目標	(市内路線バス利用者数) 現況値 17,027人 目標値 17,027人	
事業名	予約型乗合タクシーの運行範囲拡大	<p>五所川原地域予約型乗合タクシー【三好地区】</p> <p>予約型乗合タクシーの運行範囲拡大【中川・毘沙門地区】</p> <p>五所川原地域予約型乗合タクシー【飯詰・金山・長橋地区】</p> <p>五所川原地域予約型乗合タクシー【飯詰・七和地区】</p> <p>五所川原駅</p> <p>地域間連携軸(幹線)</p> <p>対象運行区域</p>
対象地域・路線 (実施年度)	・毘沙門地区（令和6年度～）	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・毘沙門地区における交通空白エリアの解消を図ります。 ・交通拠点に接続することで、市内外の公共交通網の維持・構築を図ります。 	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・予約型乗合タクシーの運行範囲を毘沙門地区に拡大します。 ・乗継ぎ拠点は五所川原駅とします。 	
数値目標	(乗合タクシー利用者数) 現況値 222人 目標値 222人	

事業名	川倉の湯っこバスと予約型乗合タクシーの統合
対象地域・路線 (実施年度)	・金木地域（令和9年度～）
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・交通モードの統合により公共交通の効率化を図ります。 ・交通拠点に接続することで、市内外の公共交通網の維持・構築を図ります。 ・運行日と乗降場所を増やすことで、利用者の利便性向上を図ります。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「川倉の湯っこバス」と「予約型乗合タクシー」を統合します。 ・週1日の運行から週3日の運行とし、予約があった時のみ運行します。 ・乗降場所に「川倉の湯っこ」、「金木公民館」を加えます。
数値目標	(総事業費) 現況値 5,852千円 目標値 4,219千円
事業名	五所川原市街地循環バスの代替交通となるAIデマンド交通の導入
対象地域・路線 (実施年度)	・若葉環状線、みどり町環状線（令和7年度～）
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通にタクシー事業者やバス事業者を活用して、運転手不足・車両不足へ対応します。 ・交通拠点に接続することで、市内外の公共交通網の維持・構築を図ります。 ・運行範囲を拡大することで、シームレスな運送サービスの実現します。 ・AIデマンドを活用し、予約に対応して運行することで車両配車等の効率化を図ります。 ・官民連携して公共交通モードの維持・確保を図ります。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・五所川原市街地循環バスの代替交通としてAIデマンド交通を運行します。 ・本庁地区、栄地区と松島地区の大字米田、唐笠柳、石岡、吹畑、漆川を運行区域とします。 ・乗降場所は、現在の五所川原市街地循環バスのバス停のほか、医療機関や商業施設等にバス停を設置することで調整します。 ・医療機関や商業施設等にもバス停を設置した場合、協賛金を募り官民連携してAIデマンド交通の維持を図ります。 ・AIデマンド交通が運行する区域内の運賃を200円～500円とします。 ・安定的な収益の確保により、路線の維持に努めます。 ・運行予約は電話又はインターネットで行い、予約に応じて最適な運行経路で目的地まで行けるようにすることで、効率的な公共交通網の構築を図ります。
数値目標	(総事業費) 現況値 9,122千円 目標値 7,353千円



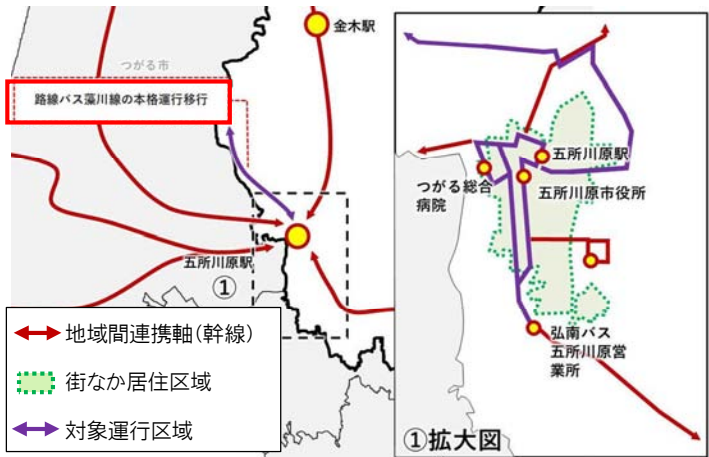
目標 2：本市と市外を結ぶ広域路線の利便増進

事業名	ICカードを活用した路線バス（小泊線・市浦庁舎線）利用者補助事業の実施	
対象地域・路線 （実施年度）	・小泊線、市浦庁舎線（令和6年度～）	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の地域間を移動する小泊線・市浦庁舎線の利用者の増加を図ります。 ・小泊線・市浦庁舎線のほか、他のバス路線等でも利用できるICカード「MegoICa（メゴイカ）」を活用する事による利便性の向上を図ります。 	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バス（小泊線・市浦庁舎線）利用者補助事業をICカード「MegoICa（メゴイカ）」の活用により、手続の簡素化等による利便性の向上を図ります。 ・路線バス小泊線・市浦庁舎線の補助対象便で片道100円～200円で利用できます。 ・地域間移動について幹線系統を活用することで、地域間幹線系統の乗車率の向上を図ります。 	
数値目標	（広域バス利用者数） 現況値 36.5万人 目標値 36.5万人	
事業名	商業施設と連携した利便増進施策	
対象地域・路線 （実施年度）	・青森～五所川原線、弘前～五所川原線（随時）	
目的	・各路線バスの利用促進施策の展開により、利用者数の増加を図ります。	
事業概要	・バス利用に応じてお買い物券の配布等により、乗車率の向上に寄与します。	
数値目標	（広域バス利用者数） 現況値 36.5万人 目標値 36.5万人	



目標 3：公共交通サービスを安定的に提供できる体制の構築

事業名	路線バス藻川線の本格運行移行	
対象地域・路線 （実施年度）	・藻川線（令和7年度～）	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バス藻川線とスクールバスの統合による運行の効率化を図ります。 ・交通拠点に接続することで、市内外の公共交通網の維持・構築を図ります。 ・便数の増加及び交通モードの統合により公共交通の利用者数の増加と利便性の向上を図ります。 	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度より、本格運行に移行します。 ・三好地区の中学生に対して、弘南バスICカード「MegoICa（メゴイカ）」を活用して、通学利用のほか、土日祝日、夏休み及び冬休みの部活にも利用できるようにします。 ・運行路線については、実証運行の際に「一中前」を経由させるため変更を行いましたが、本格運行においても同様の運行経路とします。 ・運行事業者である弘南バス(株)と連携して、乗り方教室等を実施します。 	
数値目標	（総事業費） 現況値 19,228千円 目標値 15,960千円	



事業名	五所川原市街地循環バスの代替交通となるA I デマンド交通の導入（再掲） P 4 参照
利便増進事業	I C カードデータを活用した利用実績等の分析と路線の見直し
対象地域・路線 （実施年度）	・全バス路線（随時）
目的	・利用の少ない路線及び経路の見直しによる路線バスの効率化を図ります。
事業概要	・弘南バス株式会社が導入した IC カードのデータを活用して、市内路線の利用実績の分析を行い各路線の効率的な運行を目指します。
数値目標	（バス補助金） 現況値 1 2 7, 0 1 7 千円 目標値 1 1 6, 2 4 2 千円
目標 4 : 公共交通の利用環境整備と利用促進	
事業名	I C カードを活用した路線バス（小泊線・市浦庁舎線）利用者補助事業の実施（再掲） P 5 参照
事業名	利用促進に関する情報発信等の強化
対象地域・路線 （実施年度）	・五所川原市全域（随時）
目的	・情報発信力の強化による公共交通に関する関心及び利用者数の増加を図ります。
事業概要	・広報ごしよがわら、折り込みチラシのほか、「ごしよ LINE」等も活用して情報発信します。
数値目標	（市内路線利用者数） 現況値 1 6. 3 万人 目標値 1 6. 3 万人
事業名	乗り方教室・住民懇談会の実施
対象地域・路線 （実施年度）	・五所川原市全域（随時）
目的	・公共交通の正しい利用方法等の周知により、利用者数の増加を図ります。
事業概要	・藻川地域の小学 6 年生を対象に、IC カード「MegoICa（メゴイカ）」を利用したバスの乗り方を体験してもらいます。 ・各地区で公共交通に関する住民懇談会等を実施することで、公共交通への関心を深めてもらいます。
数値目標	（MMの開催回数） 現況値 1 回 目標値 6 回